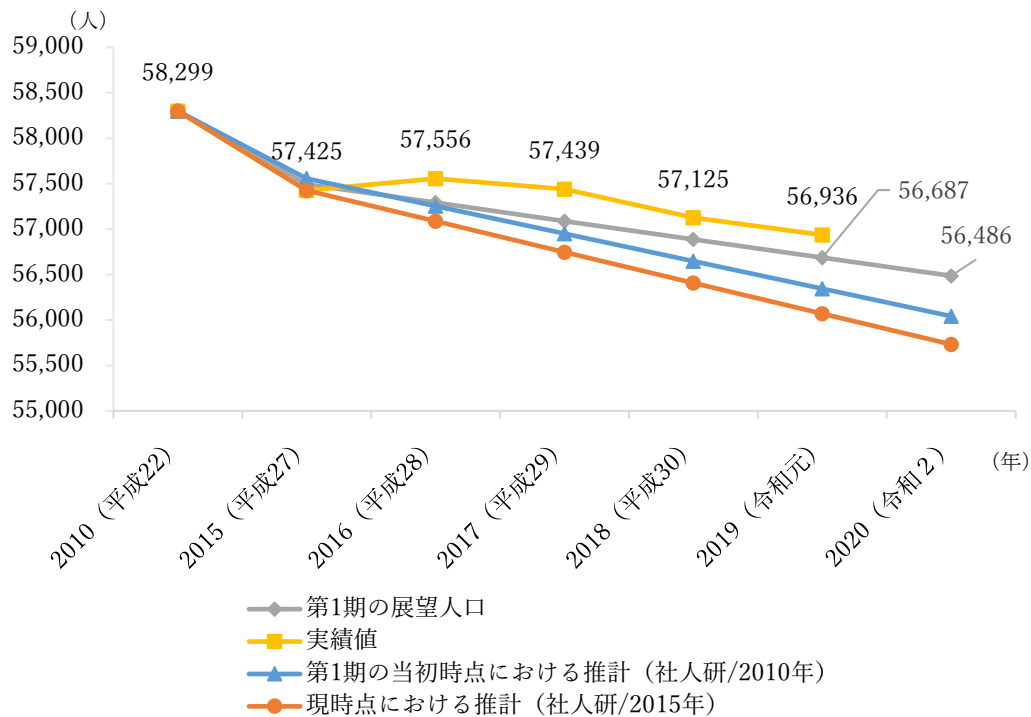


第1期総合戦略の取組み・成果について

本市では、人口減少社会に対する3つの基本方針を実現するため、2019年度までに取り組む施策をまとめ、4つの基本目標に沿って取組みを推進してきた。人口減少は進んでいるものの、将来展望人口を上回って人口が推移していることから、取組みに一定の成果があったと考える。

人口の推移



逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議からの評価・意見

○4年間の進捗状況の評価・意見

- ・基本目標1～4すべてについて、概ね良好に取り組まれていると評価。
- ・意見等の詳細については、別紙のとおり。

基本目標の進捗状況

	数値目標	2018年度実績
基本目標1	合計特殊出生率が1.41になっている。	1.28
基本目標2	5年間の転入超過数が累計で1,000人になっている	累計694
基本目標3	個人市民税納税義務者数が28,000人になっている ※均等割のみの者を除く	28,083
基本目標4	市外転出者アンケートで、「事情が許せば逗子に戻ってきたい」とする人の割合が75パーセントになっている	74.7%

KPIの達成状況

○「達成した」

具体的施策			KPI	2018年度実績
基本 目標4	基本的 方向1	④快適なまちづくりの推進	シンボルツリー苗木の配布件数が累計40件になっている	累計49件

○「目標年次までにKPIを達成できる見込みである」

具体的施策			KPI	2018年度実績
基本 目標1	基本的 方向1	②子育てを支える取組みの推進	子育てポータルサイトのアクセス数が120,000件/年になっている	202,446件
		③子育てを楽しめる環境づくりの推進	体験学習施設の主催講座の延べ参加者が1,600人/年となっている	1,450人
		④支援を必要とする子どもへの取組みの推進	(仮称)療育・教育の総合センターで実施する相談及び障害児通所支援を利用したことのある子どもの、市内18歳までの子どもに対する割合が8.3%になっている	9.9%
	基本的 方向2	①学校教育の充実	62.5%以上の教員が「自己チェックリスト」を活用して授業や学級経営についての振り返りを行っている	100%
		②支援を必要とする児童・生徒への取組みの推進	(仮称)療育・教育の総合センターで実施する相談及び障害児通所支援を利用したことのある子どもの、市内18歳までの子どもに対する割合が8.3%になっている	9.9%
		③子どもの社会教育環境の充実	子どもを対象にした「共育」の講座に参加する子どもが延べ2,000人/年になっている	9,622人
	基本的 方向3	①ワーク・ライフ・バランスの実現に寄与する取組みの推進	母親両親教室に参加する男性の数が42%になっている(医療機関で実施する講習も含む)	45.8%
基本 目標2	基本的 方向1	①シティプロモーションの推進	市HPのシティプロモーションのページへのアクセスが12,000件/年になっている	30,113件
		②交流人口の増加に寄与する取組みの充実	入込観光客数が100万人になっている	1,001,435人
基本 目標3	基本的 方向1	①快適な通勤環境の支援	自転車・オートバイ駐輪場の収容台数が3,700台になっている	市営駐輪場の収容台数3,448台 民間駐輪場の収容台数758台 合計4,206台

具体的施策			KPI	2018 年度実績
基本 目標3	基本的 方向2	③その他地域産業の活性化 に資する事業の推進	逗子海岸が安全で快適なファミリービーチ として維持されており、海水浴客数が 32.5 万人を越えている	364,000 人
	基本的 方向3	①多様な働き手、柔軟な働き 方への支援	女性の個人市民税所得割課税額が 10% 増加している	1,028,502 千円
基本 目標4	基本的 方向1	①シビック、プライドの醸成に つながる取組みの推進	「このまちが好きだ」とする市民の割合が 90%となっている	86.7%
基本 目標4	基本的 方向1	②魅力的な活動あふれるま ちづくりの推進	逗子市市民活動・生涯学習情報サイトの アクセス数が 18,000 件/年になっている	73,216 件
		③自然を生かしたまちづくり の推進	池子の森自然公園の緑地エリアを活用し たプレイパーク等の自然を生かしたイベン トに参加した人が 2,000 人になっている	1,457 名
	基本的 方向2	②安心して暮らせるまちづく りの推進	地域における支え合いの土壌となるサロ ン活動が 34 か所で行われている	41 か所
	基本的 方向3	①健康長寿のまちづくりの推 進	「元気な高齢者」の割合が83%以上になっ ている	80%

○「目標年次までに達成できない見込みである」

具体的施策			KPI	2018 年度実績
基本 目標1	基本的 方向1	①結婚から妊娠、出産に向 けた支援	出生数が 400 人/年になっている	357 人
	基本的 方向3	②働きながら子育てしやすい 環境の整備	市内保育所の待機児童数が 0 人になっ ている	8 人
基本 目標2	基本的 方向1	①移住・定住施策の推進	移住・定住に係る相談が 60 件/年になっ ている	14 件
基本 目標3	基本的 方向2	①商工業の活性化への支援	法人設立(本店新規)・設置(支店等)件数 が法人閉鎖・解散件数の 2 倍以上を維持 している	1
		②漁業の活性化への支援	小坪海浜地域活性化計画が完成している	策定に向けた情報 収集等を行った
	基本的 方向3	②新たなビジネス等の創出 への支援	創業支援事業計画を利用し、創業に至っ た者が 5 年間で 35 件になっている	累計 19 件
基本 目標4	基本的 方向1	⑤持続可能なまちづくりの推 進	市民 1 人当たりのごみ排出量が 1 日当 り 700g 以下になっている	830g
	基本的 方向2	①市民同士をつなぐ事業の 推進	5 小学校区すべての住民自治協議会にお いて、地域の課題解決の取組みが行われ ている	4 小学校区

逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の意見等

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
<p><平成27年度評価></p> <p>合計特殊出生率の数値は一年遅れで公表されるため、2015年度の評価は次年度にしかできないが、合計特殊出生率向上に向けて、着実に取り組みを推進されたい。</p>
<p><平成28年度評価></p> <p>概ね良好に取り組まれている。引き続き、着実に取り組みを進められたい。</p>
<p><平成29年度評価></p> <p>概ね良好に取り組まれていると考える。</p> <p>なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率は微増しているものの、出生数は減少している。このことに留意し、出生数の増加につながるよう取り組みを進められたい。
<p><平成30年度評価></p> <p>概ね良好に取り組まれている。</p> <p>なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率の上昇は、一つの自治体だけで成果を上げることは難しい。国、県、近隣自治体と連携し、長期的な視野を持って取り組みを進めるべきである。 ・出生数を増やすためには、出産や子育て環境を整えるだけでなく、単身者も含め若年層の転入を増やし、結婚へとつなげていくことも大切である。 ・希望する数の子どもを持つことができるよう取り組みを進めることが重要である。 ・保育所の整備だけでなく、様々な手法により保育環境を充実させることにより、待機児童の解消を図ることができるのではないか。
基本目標2 逗子市への新しいひとの流れをつくる
<p><平成27年度評価></p> <p>KPIIに設定した数値が測れるよう取り組みを早急に推進されたい。</p>
<p><平成28年度評価></p> <p>概ね良好に取り組まれている。</p> <p>数値目標の達成に向け、着実に取り組みを推進するとともに、受け皿となる住宅の確保のほか、子育て世代の転入を促進するようなソフト面の対応も重要な要素になると考えられる。また、観光客誘致については、ファミリービーチとして逗子海岸を周知する一方で、近隣地域住民へ配慮する等バランスをとりながら、引き続き取り組みを進められたい。</p>
<p><平成29年度評価></p> <p>概ね良好に取り組まれていると考える。</p> <p>なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てポータルサイトのアクセス数の伸びが顕著である。ユーザーの地域属性等について

分析することにより、子育て世代の転入促進につなげられたい。

・世田谷区、大田区といった東京都特別区の神奈川県に隣接しているエリアからの転入者が多いことから、これらのエリアへ重点的にプロモーションをするなど、積極的なアプローチを仕掛けるべきである。

・市外在住者向けのイベントの開催に当たっては、電車広告等を活用するなど、民間と連携することにより、さらなる交流人口の増加が見込まれる。産官学勤労言で連携した取り組みを推進されたい。

<平成30年度評価>

概ね良好に取り組まれている。

なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

・住みやすいまちづくりを進めることが転入者の増加につながる。住宅政策は、社会増への効果的な政策の一つとして捉えられるのではないか。

・空き家を利活用し、それを人の流れをつくる起爆剤にすることで、交流人口の増加につながる。産官学勤労言の連携を深め、一層積極的な取り組みを期待する。

・ホームページのシティプロモーションページへのアクセス数が伸びていることから、逗子市に興味を持っている人は一定いるものと推測される。インターネットを活用し、都内在住者へのアクションを強化すると良いのではないか。

基本目標3 逗子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる

<平成27年度評価>

具体的施策の実施にあたっては、KPIの数値のみならず、今後の需要と民間の動向を踏まえた上で適切な対応を推進されたい。

<平成28年度評価>

「①快適な通勤環境の支援」について、市の取り組み状況のみをもって「目標年次までには達成できない見込みである」と評価しているが、地方創生は民間も含め推進していくことが肝要であると考えられることから、民間の取り組みを踏まえて評価、検証すべきものとする。以上のことから、基本的方向1は、「達成できる見込みである」とすることが妥当であり、基本目標3についても、概ね良好に取り組まれていると判断できる。

<平成29年度評価>

基本的方向1「具体的施策①快適な通勤環境の支援」について、市の取り組み状況のみをもって「目標年次までには達成できない見込みである」と評価しているが、地方創生は民間も含め推進していくことが肝要であり、民間の取り組みを踏まえて評価、検証すべきと、昨年度意見している。従って、今年度についても、基本的方向1は、「達成できる見込みである」とすることが妥当である。基本目標3全体としては、概ね良好に取り組まれていると考える。

なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

・金融機関、商工会等と連携した事業承継の支援について、未実施となっているが、既に金融機関、商工会、神奈川県の連携により取り組みが進んでいる。相談窓口を設置する等、行政も連携した取り組みが可能と考える。

<平成 30 年度評価>

概ね良好に取り組まれている。

なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

・市内では週末だけの起業や副業をする人が増えてきている。そういう地域だと思われることで、人が人を呼び込むので、逗子らしい起業支援等を充実させ、強く打ち出すことができると良いのではないか。

・高齢者や障がい者など多様な働き手への就労支援も大切であり、誰もが働きやすい環境を整えていくことが重要である。

基本目標4 魅力的で、誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりを推進する

<平成27年度評価>

着実に取り組みを進められたい。

<平成28年度評価>

概ね良好に取り組まれている。引き続き、着実に取り組みを進められたい。

<平成29年度評価>

概ね良好に取り組まれていると考える。

<平成 30 年度評価>

概ね良好に取り組まれている。

なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

・誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりは、市民が生活していくうえで大切な取り組みである。住民自治協議会について、設立の困難さは理解するところだが、残り 1 校区である逗子小学校区の設立に向けて、引き続き取り組みを進めることが重要である。

その他

<平成29年度評価>

評価方法に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

・単年度において、すでに2019 年度の目標を達成している具体的施策が見られる。施策ごとの進捗状況をより正確に検証するため、現行3区分による評価区分の見直しについて、検討の余地があると考えられる。